



ふくい雨もよう雪もよう

福井県は一年を通して降水量が多く、豪雪地帯に指定されています。

福井の雨や雪について触れている文学を特集します。

期間：11月26日（金）～3月23日（水）



項番	作家	種別	資料名	発行年	発行者
小説					
1	谷津矢車	書籍	『絵ことば又兵衛』	2020	文藝春秋
2	舞城王太郎	書籍	『煙か土か食いもの』	2001	講談社
3	藤岡陽子	書籍	『おしよりん』	2016	ポプラ社
4	藤岡陽子	自筆資料	色紙	—	—
5	宮下奈都	書籍	『遠くの声に耳を澄ませて』	2009	新潮社
6	多和田葉子	書籍	『地球にちりばめられて』	2018	講談社
7	山田正紀	書籍	『雨の恐竜』	2007	理論社
8	吉村昭	書籍	『雪の花』	1988	新潮社文庫
9	吉村昭	自筆資料(複製)	複製原稿「めっちゃ医者伝」	(原本: 吉村昭記念文学館)	
10	谷崎潤一郎	書籍	『盲目物語』	1932	中央公論社
11	高浜虚子	書籍	『虹』	1947	苦楽社
随筆					
12	宮下奈都	書籍	『ワンさぶ子の怠惰な冒険』	2021	光文社
13	宮下奈都	自筆資料	色紙	—	—
14	正津勉	書籍	『暦物語』	1989	思潮社
15	広部英一	書籍	『広部英一詩集』	2000	思潮社
16	津村節子	書籍	『女の贅沢』	1994	読売新聞社
17	水上勉	書籍	『停車場有情』	1980	角川書店
詩歌					
18	俵万智	書籍	『短歌の旅』	1992	文藝春秋
19	山本和夫	書籍	『塩酒』	1995	洛西書院
20	三好達治	書籍	『故郷の花』	1946	創元社
21	橘曙覧 著 久米田裕 編	書籍	『志濃夫廼舎歌集』	1979	終発行所
22	—	グッズ	独楽吟トランプ	2014	福井市
23	松尾芭蕉 著 山本晴幸 監修	書籍	『おくのほそ道』(復刻版)	2014	敦賀市教育委員会
24	俵万智・立松和平	書籍	『新・おくのほそ道』	2001	河出書房新社
25	紫式部 著 南波浩 編	書籍	『紫式部集』	1973	岩波書店
書				展示日	
26	石川九楊	書	「ここにかく 日野の杉むら埋む雪 小塩の松に けふやまがへる」	2022年 1月25日(火)～2月16日(水)	
27	岡部文夫	書	「北ぐにの空さだめなし立春を すぎてふかぶかにふたたびの雪」	2022年 1月25日(火)～2月16日(水)	
28	岡部文夫	書	「この朝を近江に降りてみし雨の いま吾が上にはげしくなりぬ」	2022年 2月18日(金)～3月23日(水)	
29	山本和夫	書	「時雨止み虹のかかりて颯と消ゆ うらにしの季節北陸日和」	2022年 2月18日(金)～3月23日(水)	
30	山本和夫	書	「若き日は金沢に在りし君故に この深き雪をいとしと思わむ」	2022年 2月18日(金)～3月23日(水)	